

茅ヶ崎セントラルクリニック

川野 和雄(ドライバー / 事務部)

功 績 男性更衣室を新たに新設する際、業者に委託するのではなくDIYの知識を活かして自らドライバー業務とは別に作業する旨立候補してくれた功績

推 薦 者 若林陽盛(事務長)

推 薦 理 由 自らの知識と技術で経費削減に貢献したことに加え、職員の笑顔を引き出す発言と動きをしたことは理事長賞に相応しいと考え推薦させていただきます。

内 容

川野は勤続5年目の今年73歳になるセントラルクリニックのドライバーです。隔日でお勤めしてくれています。加えて2週間に一度、湘南慶育病院のドライバーとして職員送迎のバスを運転しています。健育会グループの中で施設を跨いで活躍されている職員です。

ほとんどの時間をドライバー業務に充てていますが、施設内の壊れた備品などの修繕も引き受けてくれるので、職員からはとても頼りにされています。

セントラルクリニックでは従前より男性更衣室がとても狭く、女性更衣室と比べて脆弱な作りであったことから、今年度はある程度予算をつけて男性更衣室を新設する予定でした。今年度当初、その旨会議で周知したところ、川野は自ら手を挙げ、業者に頼むのにお金がかかるなら、自分がDIYをして更衣室を新設したほうが、経費削減にもなるし、細かいところにも手が届くと思う、と発言してくれました。

結果、総工費35万円ほどを予定していた新設工事は、部材のみ調達することにより10万円ほどの工費となり、差し引き25万円ほどの経費圧縮に貢献しました。

またこの工事中、男性職員それぞれとコミュニケーションを増やし、男性職員が使いやすく居心地の良い空間にするためにはどうしたらよいかをそれぞれからヒアリングして、全体最適を考えてくれました。